一般演題

1. ^{123}I-IMPの集積を認めたMeningeal melanomaの1例

村田晃一郎　岩田　雅巳
（北里研メディカルセ病院・放）
高野　尚治　斉藤　元良　（同・脳外）
大部　誠　（同・病理）

脳腫瘍のなかでも稀とされる原発性頭蓋内悪性黒色腫を経験したため，その画像所見を中心に報告する．症例は，頭痛にて発症した34歳男性である．脳神経学的に異常はなく，血液・尿一般検査，腫瘍関連マーカーも正常であった．頭部CT検査では，中頭蓋窩に接する3×3 cmの高吸収領域を認め，周囲に脳浮腫を伴っており，造影効果は軽微であった．MRIでは，T1強調像にて高輝度を呈し，T2強調像にて腫瘍部分が無信号の特徴的な像を呈していた．また，冠状断像では中頭蓋窩に広基性に接し脳実質を上方に圧排しており，髄膜関連の腫瘍と考えられた．

^{123}I-IMPによる脳血流シンチグラムでは，腫瘍部分に強い取り込みを認め，15分像よりも2時間像にて集積が強くなっていた．手術所見では薄い被膜を有する半球状の腫瘍で中頭蓋底でシート状にクモ膜下腔に移行し，脳溝に沿って浸潤していた．病理では，脳軟膜原発の悪性黒色腫であった．

2. ^{99m}Tc-SQ30217による心筋血流シンチグラフィー：——特に^{201}TlClとの比較において——

橋本　順　久保　敦司　塚谷　泰司
中村佳代子　橋本　省三　（慶応大・放）
岩永　史朗　半田俊之介　（同・内）

虚血性心疾患もしくはその疑いのある20例に，新しい心筋血流製剤SQ30217 (^{99m}Tc-Teboroxime)を投与し，その結果を検討した．

運動負荷・安静時2回投与を行い，負荷Tl，心臓カテーテル所見と比較したところ，Tlシンチグラフィーとの所見の一致率は高く(約85%) Tlと比べsensitivity, specificityに有意差は無かった．planar像では高率で下壁と肝臓との重なりを認め，5例ではSPECT像でも重なりがあり，うち4例でSPECT短軸像にてartifactと考えられる肝に接する下壁の欠損が見られ読影上注意を要すると思われた．一方，連続撮像にて，虚血部と健常心筋部とのwashoutの差から虚血を短時間かつ鋭敏に検出できる可能性も示唆されている．

3. 3D display法によるTc-99m MIBI心筋シンチグラム

鹿島田明夫　町田喜久雄　本田　憲業
間宮　敏雄　高橋　卓　滝島　輝雄
釜野　剛　村松　正行　井上　優介
（埼玉医大総合医療セ・放）
伴　隆一　（島津製作所）

16例の陳旧性心筋梗塞患者に対し3D display法によるTc-99m MIBI心筋シンチグラムを施行し，病変部位診断能についてTc-99m MIBI SPECTとの比較検討を行った．回転型ガンマカメラにて64方向の撮像を行い，断層像はShepp-Logan filtered back projection法にて，3D像はdepth-shading法により再構成された．読影は4人の放射線科医の合議により施行された．Tc-99m SPECTおよび3D像の病変部位診断能のsensitivityおよびspecificityに差はなかったが，3D像はSPECT像に比し，RI欠損像の直観的診断が容易であると思われ，3D display法は左室壁の血流欠損像の診断に有用であることが示唆された．

4. ガリウムシンチグラフィーとCA 125が有用であった悪性腹膜中皮腫の1例

方波見卓行　堀内　規　磯部　穂積
中村　芳正　加藤　義郎　高橋　利明
星　賢二　辻野大二郎　斎藤　宣彦
染谷　一彦　（聖マ医大・三内）

症例，69歳女性，悪心・腹満感を主訴に受診し，腹水を指摘され入院．蛙腹と右側腹部腫瘤を認め，血清・腹水CA 125が著明高値，腹水細胞診Class V，Gaシン

Presented by Medical*Online